

緊急
告知

学研メディカルサポート

オンライン教育講演

看護部長様、副看護部長様、教育責任者様

参加費
無料

自分力をひきだす コミュニケーションの新しいかたち ～地域包括ケアシステムのなかで 利用者の意思決定を支え寄り添うために～

お申し込み受付期間

2022年5月10日(火)～2022年6月27日(月)

配信期間

視聴方法・講義時間(予定)

2022年6月1日(水)～6月30日(木)

オンライン配信(約50分)
(期間中いつでもご覧いただけます)

●講師紹介

秋山 正子 (あきやま まさこ)
認定NPO法人マギーズ東京 センター長
株式会社ケアーズ 白十字訪問看護ステーション
暮らしの保健室 室長



略歴

1973年聖路加看護大学卒業、関西にて臨床および看護教育に従事。実姉の末期がんの看取り経験時に、在宅ホスピスケアと出会い、1992年から東京都新宿区にて訪問看護を開始。2001年母体法人の解散に伴い会社設立。現在株式会社ケアーズ代表取締役、白十字訪問看護ステーション統括所長として、新宿区および東久留米市にて訪問看護・居宅介護支援・訪問介護の3事業を展開。2011年、高齢化の進む巨大団地に「暮らしの保健室」開設。2015年、新宿区四谷坂町に看護小規模多機能型居宅介護(複合型サービス)「坂町ミモザの家」を開設。がん患者と家族のための相談支援の場、「マギーズセンター」を東京に、とNPO活動を展開し、豊洲に2016年10月マギーズ東京オープン。センター長就任。

●講演内容

人口減少社会が到来した。ケアを必要とする人が増え、看護師をはじめとするケアする人の数が増えない社会、患者は自主的に情報を集めて「患者力」を高めはじめた。さらに患者の希望に沿った治療を選択するため、共同意思決定(Shared Decision Making)の必要性が問われた。

看護師は、さまざまな場面で自己決定支援を行うことを期待されているが、そのプロセスをきちんと理解しているだろうか? 地域包括ケアの推進のなかで、地域での多職種連携を進めるためにも看護師のコミュニケーション能力について今、見直さざるをえない。本講演では実践事例をもとに進めたい。

このたび、教育講演と題して、秋山 正子 先生を講師にお招きして看護管理者を対象としたオンライン講演会を開催いたします。多くの看護部長様、副看護部長様、教育責任者様のご参加をお待ちしております。

学研グループでは、数多くの医学書、看護書などで看護師の教育を側面的に支援してまいりましたが、お客様から院内研修に関する多くのお悩みをいただきました。そこで現在、看護部の院内研修を支援するインターネットを使った研修配信事業「学研ナーシングサポート」「ビジュアルナーシングメソッド」「看護師の特定行為研修」などをご提供しております。

●お申し込み方法

- 「学研メディカルサポート」のウェブページの最下部にある「講演会・セミナー・イベント」にアクセスし、「今年度の講演会・セミナー・イベント」一覧から本講演を選び「お申し込み」をクリック
- お申し込みページの入力フォームに必要事項を記載し、「入力内容を確認」をクリック
- 次の確認ページで「確定する」をクリック
- 2で入力したメールアドレス宛に仮申し込み完了のメールが送られてきたら、メール下部の「本申し込み用 URL」をクリック、仮パスワードを入力してお申し込み完了



●本申し込み用URL
<https://gakken-meds.jp/○○○○>
●登録用の仮パスワード
XXXX

●ご視聴の流れ

- 弊社サービスの紹介動画を3分以上ご視聴いただくと、本講演の講義動画をご覧いただけます
- 講義動画を10分以上ご視聴いただき、アンケートをご提出いただくと、本講演の講義資料(PDF)をダウンロードいただけます

詳しくはウェブページをご参照ください



講演会・セミナー・イベントのウェブページ：<https://gakken-meds.jp/koen/>

